

日産スタジアム



ボランティア

NISSAN STADIUM

ボランチわ

2012年2月発行



第23号

「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

2011年12月のボランティア活動

クラブワールドカップ6万8千の大観衆

3年ぶりのクラブワールドカップ決勝戦が12月18日(日)に行われて、運営ボランティア111名が寒風吹きすさぶ中、久々に6万8千人の大観客の対応活動に大奮闘しました。東西南北各ゲートに配置され、カイロ配布とピン・缶の移し替え作業。12時30分集合から3位決定戦・決勝戦の2試合の活動で21時前までの長丁場を、大興奮の大観衆に圧倒されながらも大きなトラブルも無く無事に対応することができました。やはり、6万8千の大半が東ゲートからの入場で、東Cグループ担当の皆さんには大きな負担がありましたが、3年前までの東西ゲートの先行入場が無く全ゲート一斉入場となったので、これまでよりはスムーズな活動ができました。

(2階席までギッシリの6万8千人の大観衆)



(杵をしっかりと持って そーれ よいしょ よいしょ)



恒例 年末イベントの横浜市民のための「2011 エンジョイもちつき&しめ縄飾りづくり」が、今年も12月23日(祝金)に開催されました。元気な19ファミリー58名の皆さんにお出でいただいて「餅つき」「しめ縄づくり」そして凧揚げ・コマ回しなどの「昔遊び」と寒さの中を元気に賑やかな5時間を楽しまれました。ボランティア20名は、朝9時集合からすぐに、前日仕込んでおいたもち米の蒸しやきな粉・あんこ・お雑煮づくりに大忙し。11時、スタジアムツアーから戻った皆さんはそのままトラックに上がってべったん、べったんと臼での餅つきに挑戦。つきあがったお餅はすぐにちぎられてきな粉・あんこ・醤油のりとお皿に盛られて、待ちかねた子供たちのお口にどんどん入っていきました。おなかいっぱいになった皆さんは今度はしめ縄作りに挑戦。正式のしめ縄の縄ないに苦勞する大人の脇で、可愛いしめ縄をあっという間に仕上げた子供たちは、寒さのトラックに元気に飛び出して凧揚げ・コマ回し・剣玉などをいっぱい楽しみました。もち米15kg(1斗=10升)をあっという間に平らげた子供たちの満足げな顔が印象的でした。

2011エンジョイ餅つき&しめ縄飾りづくり

今年も見せましょう ボランティアの笑顔

2012年 新春の活動

新横浜公園、凧揚げの会

2012年最初のボランティア活動は1月9日の～大空に凧を揚げよう～のお正月らしい楽しい活動でした。午前11時に新横浜公園草地広場で開場。ボランティア20名が、年末から準備したスーパー袋を利用したビニール凧の材料70点を、元気な子供たちに提供して簡単にできる「凧づくり」を指導。開場直後から大人気で、出来上がった凧を冬の青空にスイスイと揚げていました。他に、お正月遊びの定番「羽子板」「コマ回し」「ベイゴマ」「剣玉」「めんこ」から「紙芝居」まで登場してお正月の気分を大いに盛り上げました。参加者数 374名



(手作り凧が揚がる 「がんば」「ろう」「日本」の文字)



(真剣に紙芝居を見詰める皆さん)



(あっ 回ってる 回ってる 回ってる)



(さー 上手にコマに紐を巻けるかなー)

昨年8月に急性心筋梗塞で亡くなられた元マリノスの松田直樹選手の追悼試合「松田直樹メモリアルゲーム」の活動が1月22日(日)行われました。三浦知良、中田英寿ら、松田氏が現役時代の日本代表や横浜、松本山雅などで共にプレーした仲間が86人集まり、めったに観られない豪華な顔ぶれに4万人を超える観衆であふれました。ゲームは横浜F・マリノスOB×松本山雅戦、Naoki Friends×横浜F・マリノスOBの2試合が行われ場内を沸かせました。ボランティア57名が参加、4F・5F・7Fのチケットチェック業務でした。朝9時集合からの冷え切ったスタジアムでの活動は、カイロ4ケをお腹に入れても手が切れるような冷たさで厳しいものでしたが、無事終了することができました。



松田直樹メモリアルゲーム

ボランティア事務局・各部会 会議 議事録 (要約)



○ ボランティア事務局

平成23年度第2回運営ボランティア事務局会議議事録

日時 平成23年9月10日(土) 13:00~16:00

出席者 安田・上田・菊池・荻野・大橋・佐藤・久保・平原(記録)・石崎

- 1 体験ボランティア 11/26 横浜F・マリノス対川崎フロンターレ(等々力競技場)。日程再検討。
- 2 ボランティアと市民イベント (1) 餅つき&しめ縄、昔の遊び 開催予定 12/23(祝金)
(2) 来年度開催新イベントについて1月予定(1/9(祝月))の凧揚げイベントのときに凧作りをする。
- 3 マニュアル関係 (1) マニュアルについて(リーダー部会)リーダーマニュアルは年内完成予定。
(2) Q&Aについて(事務局)・マニュアルだけでは対応できないため、Q&Aは有効である。
・活動前にリーダーがQ&Aの内容について再確認する。
- 4 その他 (1) 各部会活動 環境美化部: ゴミ拾いの呼びかけを実施。来年花見計画。イベント部会と共同で田んぼ作付け計画。 情報部会: 次回、2012年1月発行予定
(2) ボランティア・ホームページ作成(案) 月1回程度は更新してほしいが継続が難しいと思われる。
(3) 新規ボランティア募集(案) (ア) 募集先について 町内会自治会がよい。
(イ) 活動条件等について Jリーグ活動3回以上の参加の方を他活動に優先的に参加してもらう。
(ウ) 活動後の楽しみ(懇親会)・企画イベントを検討・マリノスファン感謝デーへのボランティア招待

平成23年度第3回運営ボランティア事務局会議議事録

日時 平成23年11月23日(水祝) 13:00~15:00

出席者 佐藤(大)・安田・大橋・横塚・上田・久保(記録)・石崎

- 1 体験ボランティア報告(研修交流部会) 11/3(等々力)川崎VS大宮戦の体験報告 参加者アンケート報告
- 2 ボランティアと市民のイベント 来年度開催の新イベントについて、ボランティアより案を募集する。簡単な様式を用意して12/3活動時に説明、配布をする。
- 3 マニュアル関係 (1) リーダ部会 12/17(土)にマニュアルのまとめ。(2) Q&A集の表現に修正の要否を検討。
- 4 その他 (1) 1月以降の活動予定報告。(2) 24年度スタジアムボランティア登録条件等について検討。更新条件「Jリーグでの活動2回以上」。出席事務局員了承。(3) 研修交流部会 2/11(土)研修会開催予定。(4) リーダ部会 マリノスファンデーへのスタジアムボランティア招待について12/3(土)活動時に参加希望者を募る予定。(5) 東日本大震災に対するボランティアよりの募金合計が、342,950円となり、今後58,000円を集めて400,000円とし、福島県・宮城県・岩手県に続いて「子供の為の基金」に送ることを報告。

平成23年度 第4回運営ボランティア事務局会議議事録

日時 平成24年1月21日 土曜日 13:10~16:10

出席者 上田・大橋・久保・菊池・安田・佐藤(大)・※平原・石崎 ※代理出席

- 1 活動実績報告および反省
(1) 1/9 新横浜公園たこ揚げ (2) 12/23 餅つき&しめ縄づくり (3) 12/18 クラブ・ワールドカップ
- 2 議題
(1) リーダーマニュアル改訂状況: リーダー部会 リーダーマニュアル完成3月3日予定。
(2) 次年度(24年度)更新に対する更新証送付条件: 運営部会
(3) 2/11 定期研修会: 研修部会 内容審議、開催目的確認してほしい。1月28日研修部会で再検討予定。
- 3 今後のボラ活動、その他連絡事項
(1) 各部会から連絡 来年度リーダー部会長について依頼をする。ボランティアルームを使用した活動について、イベント部会活動外と思われるものがあるため活動者に確認をする。目標の震災義援金(10万円)が集まったため、朝日新聞社へ託(寄付)します。

◀ ボランティア事務局及び各部会の会議議事録の詳細につきましては、その都度の活動時にスタジアム301号控え室の掲示板に掲示して公開されております。また、事務局 石崎さんのデスクに資料が保管されておりますので、ご希望の方はいつでもご請求ください。

ボランティア事務局・各部会 会議 議事録 (要約)

○ リーダー部会

平成23年度 第4回リーダー部会議事録

日時 平成23年8月13日(土)

場所 ボランティアルーム 参加者 上田、大家、スタジアム石崎

議題 リーダーマニュアル 12月までに完成予定

平成23年度 第5回リーダー部会議事録

日時 平成23年12月17日(土) 10:00~12:30

場所 ボランティアルーム

参加者 大家、菊地、大輪、餅原、坂本、林、竹内、鈴木、網野、上田、安田、佐藤、スタジアム石崎

議題 ① FCWC活動の事前打合せ・現場下見。3年ぶりのFCWC活動のグループ編成などの事前打合せ及び活動場所などを確認

② リーダーマニュアル【活動配置と時間等について】 大家さんより1勤2休の基本的体制表の提出あり

○ 研修・交流部会

平成23年10月8日〔日〕 出席者 横塚、大家、関本、平原(欠席:星野、平川、鈴木崇)

1. 平成23年度 体験ボランティア活動の企画案について

告知方法、先方との事前打ち合わせ、意見交換テーマ、事後のフォローアップなどを検討。

2. フォローアップ研修について

定例研修と合体し、Q&A、新横浜公園見学、講演などと合わせて企画。

平成23年10月22日〔土〕 出席者 横塚、大家、関本、(欠席:平原、星野、平川、鈴木崇)

1. 平成23年度 体験ボランティア活動の最終準備 参加者、集合場所、感想文の要請などを確認。

2. 定例研修について

講演テーマを検討。防災、震災ボランティア体験などを企画。

平成24年1月9日〔祝〕 出席者 横塚、平原(欠席:大家、関本、平川、鈴木崇)

1. 定例研修の企画案について

震災シミュレーション(グループディスカッション)、防災講演、防災施設見学などを企画。

○ イベント部会

・工場見学会 7月31日(日)、17名の参加にて鶴見区生麦にあるキリン横浜工場見学を行いました。見学後は出来立て生ビール試飲(3杯まで無料)を楽しみ、その後ピアビレッジ内レストランで食事会を行いました。見学後急遽生麦事件資料館にも立ち寄り、工場見学、歴史散策と充実した一日となりました。

・みかん狩り&ウォーキング 11月6日(日)開催で準備をしていましたが、雨天中止となりました。

・餅つき&しめ縄 12月11日(日)、17名の参加にて年末恒例の餅つき&しめ縄を行いました。ボランティアの親睦、交流イベントであると同時に、12月23日(祝金)開催のスタジアム主催の「エンジョイ餅つき&しめ縄飾りづくり」の事前準備およびリハーサル的な意味も含めて行いました。

○ 情報部会 平成23年12月15日 メール会議 安田、林

ボランティア第23号の編集・割付の担当。編集開始。編集完了予定 1月末日

「敵に塩を送る・・・ベガルタ仙台に震災激励千羽鶴贈呈・・・」

昨年9月22日 日産スタジアムにおけるベガルタ仙台戦で、仙台サポーターの被災者激励のための千羽鶴が南スタンドで仙台サポーターに贈呈されました。この日の対戦成績はF・マリノスの敗戦でした。試合終了後301号室で仙台サポは「お陰さまで勝つことができました。有難うございました」と御礼を言われてとても喜んで帰られました。私たちとしては決して仙台チーム激励の千羽鶴ではなかったのに。その後のベガルタ仙台はずーっと負けナシ。そして、「Jリーグ最終戦で直接対戦でもないのにF・マリノスは5位に転落。入れ替わって第4位に上がったのはベガルタ仙台でした。今年マリノスホーム第1戦がベガルタ仙台



平成23年度 活動実績によるポイント該当者の皆さん

平成23年度のポイント該当者は下記の通りです。昨年1年間のJリーグ横浜F・マリノス戦の活動に7回以上活動された方々です。活動お疲れさまでした。参加ご協力感謝いたします。なお、横浜マリノス(株)様への書類提出は3月以降になりますので、該当者へのチケット配布は例年4月下旬からとなりますのでご承知おきください。

(ボランティア事務局 チケット担当)

平成23年度ポイント該当者

- 【11年度】井出清四郎、荻野五十美、加藤仁樹、大輪正美、小林正行、青木義次、安田十四雄、田中正子、大家啓伸、能澤末喜、舛永正夫、米口功一、上田敏彦、原敏美、岩松節子、大橋靖子、久保正文、野見山捷一、奥山敏夫、中藤早苗、瀬尾孝子、津久井喜代子、山本勇、中山正、加藤史典、鈴木崇、餅原安廣、鈴木克明、水山亮、筒井由美子、横塚雅美、佐藤大治、佐藤辰夫、石川比呂子、尾形玲子、吉田祥子、川尻和子、荒川栄、花井玲子、田代勝子、佐山喜美、田中龍男、副島由美。
- 【15年度】網野勉、小野愛生、前田雅子、丹羽和央、長山秀雄、渡辺修、弓指篤二、篠原信及、大石忠雄、落合明人、関本光俊、堀満夫。
- 【16年度】押尾正明、小原俊治、富田民雄、石原軍 城島章暢、鷹嘴芳之、長谷川博一、富田聖子。
- 【17年度】重田和男、吉谷明次、志賀君枝、白井テルミ、松山由喜子。
- 【18年度】南川圭一、浅見仙次郎、中沢ふさ子。
- 【19年度】石井篤、石川泰子、斉藤義隆、倉橋セイ子、三井卓、田辺幸男、渡邊福子。
- 【20年度】坂本靖幸、斉藤博道。
- 【21年度】白井勝秀、望月英雄、伊地知晴美、平尾隆朗、坂口孝信、瀬戸清、松田君代、宮野浩樹、伊奈川守男、岩下輝雄、吉村保子、岩下和子、佐野佳子、大金信夫、澁澤照久、尾形忠實。
- 【22年度】百瀬正勝、石井美由紀、朝倉道昭、三浦秀俊、増田秀男、糸屋泰士、中山彰三、横山栄夫、梶尚理、
- 【23年度】林久枝、山口隆、松尾忠史、色川啓一、尾方嵩雄、若松雄二。 計 111名

活動ファンポイント

.....新横浜公園の中にある広場.....

イベント開催中でも、日常に於いてもスタジアムを訪れたお客様に「〇〇広場はどこですか」と聞かれることが多くあります。

私たちの活動の場である横浜市最大のスポーツ公園「新横浜公園」には、「テニスコート」とか「投てき場」と呼ばれている施設の他に、「広場」の名が付いた所があります。

良く耳にするのが東ゲート前広場(噴水のある所)や中央広場(日産フィールド小机の東側)ですが、昨年新たに大きな芝生の草地広場(亀ノ甲橋の西側)が誕生しました。また、草地広場の西側には運動系広場と運動広場が大きな面積を占めています。その他に、道路橋の下にはスケボー広場・バスケットボール広場・インラインスケート広場(1・2)があります。一口に「広場」と言われても目的に沿った名前がつけられていますので、ご案内するときは注意しましょう。

イエローカード

.....2勤1休の交替時間.....

昨年度から活動システムの「2勤1休」制度が順次確立してきました。活動前に各グループで「2勤1休」カードが配布されて、分かり易く皆さんからとても好評を得ております。基本的に3人1組の班で1時間勤務、30分休憩。長いようで短い30分の休憩時間ですが、1時間勤務しているチームメイトからすると「あと5分、あと3分・・・」と交代を待ち兼ねていますから、決まった時間前には必ず現場に到着するように心がけましょう。この心がけがお互いの心を思いやることで、仲間のチームワークを高めるもとだと思います。年末の大イベントのクラブワールドカップ活動は、東ゲートで37名の大きなグループだったために1班12名構成になり、リーダーを含めた12名全部が休憩に入りました。交替時間近くになっても、一人での交替と違って「誰かが立ち上がるだろう」と思って立ち上がりません。リーダーも指示をしませんでした。その結果、ゲート現場のブーイングは強烈でした。勿論リーダーの指示が無かったことが第1の原因ですが、「誰かが・・・」の気の緩みがあったことも一因でしょう。

平成23年度 体験ボランティア活動 報告

(研修・交流部会)

期 日：11月3日(木・祝) 等々力競技場 川崎フロンターレ vs 大宮アルディージャ

参加者：石川比呂子、平川みゆき、網野 勉、山口 隆、三浦秀俊、坂口孝信、梶 尚理、佐藤大治、横塚雅実、
大家啓伸、平原和彦、日産スタジアム石崎佳子

活動内容

- 1) ゲート(関本、佐藤、山口、三浦) サンプリング、チケットもぎり、場内清掃、ゴミ回収、片付け など
- 2) 総合案内(石川、平川) 迷子、落し物対応、場内案内、問い合わせ対応、関係者チケット渡しなど
- 3) 後援会ポイントカード(横塚、坂口) 入会受付、ポイント加算及び商品引換、チケットチェック誘導 など
- 4) イベント補助(網野、大家、平原、梶) 動物王国にてイベント運営補助、撤去補助、ゴミ回収など

意見交換(川崎フロンターレ及びボランティア代表者と日産側参加者全員)

- 1) ボランティア組織について・事務局は8名で構成。事務局をサポートする4名のボランティア(チューター)。リーダーはボランティアから活動ごとに指名。レシーバーにて連絡調整。主な業務はチケットチェック、サンプリング、イベント補助、子供・マスコット対応、後援会活動補助、案内
- 2) 研修、動機づけについて
 - ・新規研修を重視。活動を一巡させてから正式登録。マスコット研修等特定業務向けの研修も実施。
 - ・ポイント制を実施。雨天、夜間などきめ細かい配点。選手、監督と交流するクラブ納会への参加がインセンティブ。
 - ・懇親会、遠足などイベントを実施。横のつながりや居場所づくりに配慮。
 - ・募集はインターネット、交通機関へのチラシなど

体験ボランティア参加者の感想

- まず、楽しむこと!」「そうだよね!」全員輪になって開始終了。我々の挨拶、ボラ参加新人選手の感想。思いを、全員大きなわで受けとめる。そして一つに繋がる。楽しさ厳しさたくさん語った一日でした。(平川みゆき)
- 川崎では活動内容がイベント毎に異なるため、対応能力を要求されていて使命感に燃えているように思えました。お客さんが楽しんでいただけるように個人の目的意識が高く活動終了後の満足度は高い印象でした。(平原和彦)
- 各々のボランティア組織には、目的・性格・運営等の違いがありますので、対比したり提言することなどはできませんが、「我を知り相手を知る」点で貴重な体験ボラでした。(佐藤大治)
- 平川さんと二人で総合案内をしました。川崎のボランティアの人たちは始めと終わりに丸く輪になってミーティングをしていますが、皆の顔を見て分かり易くて良かったと思います。ただ、休憩時間があまりなく、川崎のボランティアの人たちは大変だなと思いました。(石川比呂子)
- 今日日産スタジアムの代表として体験ボランティアで川崎フロンターレのサポートをさせていただきました。朝9時に全員で新丸子に待ち合わせし、等々力競技場まで徒歩で行きました。朝のミーティングから参加し、各配置の説明があり、さらに活動内容を詳細に説明して頂きました。私は運営の方に配置され、時間に正確であることが求められ、時々厳しく怒られました。来場者は主に子供連れで、とても賑やかで手を焼かされる場面もしばしばありました。普段とは雰囲気の違い、とても新鮮で時間が短く感じました。フロンターレのボランティアは若く活気がありました。同じ競技場ボランティアとして大変勉強させていただきました。(梶 尚理)
- 選手、お客様(サポータ)、ボランティアが一体となり、川崎フロンターレを盛り上げようとしていることが見えます。新人選手が研修という名目でボランティアと一緒にチラシ配り及びチケットもぎりをしています。試合終了後、全体ミーティングで新人選手も参加して反省会等を行っています。ボランティアの年齢層が若く、女性が80%位しめており楽しそうに活動していることが見えます。たぶん規則で厳しく規制していない(日産スタジアムのように試合を見てはいけないとか)新人選手と交流ができる等があるのではないかと考えられます。(三浦秀俊)



漫画「ボランティア活動百態」は作者 舛永さんのご都合で本号はお休みいたします

日産スタジアムボランティア 東日本大震災 義援金募金活動 報告

平成24年1月31日

運営ボランティアの皆さんのご協力で、昨年3月26日から開始しました東日本大震災の義援金募金活動につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

日産スタジアムボランティア 東日本大震災救援チーム

1: 義援金募金金額	平成24年1月31日現在	404,950円
2: 義援金送金	福島県災害対策本部	平成23年5月12日 100,000円
	宮城県災害対策本部	平成23年6月24日 100,000円
	岩手県災害義援金募集委員会	平成23年9月12日 100,000円
	朝日新聞厚生文化事業団「こども応援金」	平成24年1月20日 100,000円
	合計	400,000円
	残金	4,950円

上記の通り、合計400,000円を義援金として各地へ送金することができました。これは偏に運営ボランティアの皆様から、活動のたびにご協力いただきましたご厚志の賜物です。本当に有難うございました。間もなくあの3・11が巡りまわってきます。東日本の現地の被災地の皆さんは、まだまだ多くの苦難を抱えて復興に苦勞されています。救援チームは、第1回の目標は達成しましたが、これからも引き続き義援金募金活動を行ってまいりますので、どうぞ引き続きのご協力を宜しくお願い申し上げます。

(募金担当 菊地、安田)

朝日新聞 2012年(平成24年)1月31日 火曜日	
<p>東日本大震災救援基金 朝日新聞厚生文化 事業団受け付け</p> <p>25万円 横浜市・F・F▽10万 円 横浜市・日産スタジアムボ ランティア東日本大震災救援チ ーム、大磯町・佐々木徳子▽5万 円 川崎市・田奈中学校PTA ▽4万円 横浜市・菊地朝▽2 ▽3万円 茅ヶ崎市・Y・Kシ ヤスタンス▽2万円 横浜市・布 雅クラブ、相模原市・若林えつ こ、茅ヶ崎市・福土寺△1万 万2503円 横浜市・泉区女性 団体連絡協議会▽1万2千円 横 浜市・東台小麻雀同好会▽1万 横浜市・小野穂子、山路徹、横 須賀市・森田祐子▽5千円 綾瀬 市・野口勇 敬称略</p>	

ヘガルト仙台 ボランティアからのお便り

安田 様

12月15日

初めまして。ヘガルト仙台ボランティアの山形と申します。この度は支援物資お送り頂きまして、ありがとうございました。寒さが厳しくなりました、仮設住宅に住んでる人達も暖房対策が未だだったり、自分の家に住む方も1階が津波で流されて2階で細々と暮らしていたりと様々です。市町村は物資の面倒はみてくれませんので自己解決で、経済能力のある方ばかりでもないの、特にお年寄りの一人暮らしの方はみじめです。私は東松島市に生まれ、育ち、高校は仙石線で石巻に通学、高校3年の春、チリ地震津波に遭いました。現在住む亘理町も、今回の東日本大震災に遭遇し、これまで生きてきた全ての場所で、かたがいの無い人達との別れ、悲しい思いもしました。ヘガルト仙台でボランティアをして良かったと思うのは、アウェイのチームのサポーター、ボランティアの方々か暖かい手をさしのべて頂いたこと、今も、真に感謝申し上げます。今回の冬物は東松島市の野蒜(のびる)地区、大曲(おおまがり)地区の仮設住宅で暖房工事の始まっていない所に居るつもりです。12月より高速道路が無料化になり、ものすごく渋滞してますが、皆様の暖かいお心を被災地に届けるのが自分の使命と思ってます。クラブワールドカップ戦、楽しくTV観戦してますが、最後は日産スタジアムですね。1度も足を踏み入れた事のないあのスタジアムです。チケットも売り切れとのこと、6万人のお客様を迎えてのボランティアもさぞ大変なこととお察し致します。ANIMO(頑張っ)です。

宮城県 亘理町 山形 俊子

INFORMATION

※ 下記予定表は2月5日現在のものです。以後変更する場合がありますのでその都度ご確認ください。

月	日	<2月以降のボランティア活動予定表>	集合時間(予定)	試合開始(予定)
2月	12日(日)	スタジアム杯(準決勝) ボールボーイ	9:30	
	17日(金)	日産スタジアム駅伝(準備)	12:00	
	18日(土)	日産スタジアム駅伝	7:15	
	19日(日)	スタジアム杯(決勝) ボールボーイ	12:00	
3月	10日(土)	よこはま国際ちびっこ駅伝大会	7:00	
	17日(土)	Jリーグ 横浜F・マリノス VS ベガルタ仙台	10:30	14:00
	31日(土)	Jリーグ 横浜F・マリノス VS 鹿島アントラーズ	15:30	19:00
4月	28日(土)	Jリーグ 横浜F・マリノス VS ヴィッセル神戸	12:30	16:00
5月	4日(金)	チビリンピック前日袋詰め作業	12:30	
	5日(土)	JA全農チビリンピック2012	7:00	
	6日(日)	Jリーグ 横浜F・マリノス VS コンサドーレ札幌	9:30	13:00
	19日(土)	Jリーグ 横浜F・マリノス VS ガンバ大阪	10:30	14:00

スタジアムアラカルト

[事務局員便り]

昨年1年間、イベントの支援をして頂きまして誠にありがとうございました。まだ、2月中にスタジアム杯少年サッカー大会(2回)とスタジアム駅伝大会の二つ残していますが、今年度の活動はJリーグ14回。その他の活動として3年振りのクラブワールドカップを含めて16回。計30のイベントを支援しました。トータル1,970名(予定を含めて)に方々が活動されました。1人平均の活動回数は、約6.5回と低いです。ここで問題があります。今年度人数の(登録中含む)の内、無活動者83名・1回のみ20名の約100名が3分の1の割合を占めています。次年度はこの方々の奮起に期待しまして、J活動に余裕を持ちたいと思います。

今年度活動では、Jリーグでは1試合の平均参加者は97名で、特にサンプリングが各試合で5~8種類あり、多くの方々に配布サポートで配置をお願いしなければなりません。なお、ポイント該当者は前年度同列では3名減りましたが、23年度加入された方で6名が多く協力されましたことで、結果111名が該当されました。また、今年度更新意思放棄者が37名。途中脱退者が15名出ましたが、新加入者が17名入りました。

3月から新年度に入ります。1年間同数のイベントが続きます。次年度もよろしくお願いします。(佐藤 大治)



(12月18日 東ゲート広場の大賑わい、ブラジルサポーターの歓声が響く) 本号の写真提供者 大須賀さん、石崎さん、平原さん、安田

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

※ 平成23年年末活動・平成24年年始活動と「ボランチわ」としては創刊以来久しぶりに最新情報を掲載できた自己満足している編集子です。東日本大震災義援金ご協力有難うございました。今後とも宜しくお願いいたします。2月の活動が終わると3月には新年度の活動です。編集子は12月から取り掛かったこの第23号の編集が終わるとすぐに新年度用IDのデザイン改定にかかります。皆さんの活動意欲が増すようなデザインになるよう無い頭を絞り出します。(安田十四雄)

発行・編集 日産スタジアム ボランティア事務局 情報部

〒222-0036 横浜市長北区小机3300 日産スタジアム Tel 045-477-5030 Fax 045-477-5002